

令和6年度 第2回 第4次栗東市食育推進計画策定会議 会議録要旨

日 時	令和6年8月7日（水） 午後13時30分～午後15時30分
場 所	栗東市総合福祉保健センター集会室
出席委員	早川 岳人委員(会長)、新木 真一委員(副会長)、鵜飼 周太郎委員、富田 文代委員、荒川 美穂子委員、武村 秀夫委員、大隅 喜仁委員、鯉谷 美沙子委員、岸田 修委員、住吉 由加委員、平子 裕子委員、中沢 有紀委員、小田 和美委員
欠席委員	三木 美智代委員、小關 和美委員
事務局	子育て支援課主幹、幼児課管理栄養士、こども家庭センター係長、農林課主査、学校教育課課長補佐、学校給食共同調理場管理栄養士、健康福祉部長、健康増進課係長、健康増進課管理栄養士、計画策定業務委託事業者
事 項	1. 開会 2. 市民憲章唱和 3. 挨拶 4. 協議事項 (1)食育に係る栗東市の状況 (2)ヒアリング結果報告 (3)第3次計画の取組と評価 (4)栗東市の食に関する課題と取組の提案 (5)第4次計画の基本的な考え方 5. その他 6. 閉会

1. 開会

2. 市民憲章唱和

3. 挨拶

- ・早川 岳人会長が挨拶を行った。

4. 協議事項

会 長 この会議は原則公開となっている。会議の公開について、自由闊達な意見交換が

できなくなる協議事項の場合や、会議の公正かつ円滑な運営に支障が生じると認められる協議事項の場合は非公開とすることとなっている。本日の協議事項について、非公開とすべき協議事項はあるか。

- ・意見なし。これにより、本日の会議はすべて公開となった。

(1) 食育に係る栗東市の状況

- ・事務局が資料の説明を行った。

委員 栗東市だけではないと思うが、女性の方が料理する機会が多いためか、健康のことを気にしている方が多いのか、食育への関心は女性の方が男性よりも高い。これから成長して食に興味を持ったら分からないが、孫2人は野菜を食べず、ハンバーグなどのお肉を主に食べる。

委員 滋賀県の食育推進計画では肥満の割合を出しているが、栗東市ではメタボリックシンドロームの数値を出していて分かりやすいと感じた。朝食は、滋賀県では欠食率に焦点を合わせて欠食率を減らすとしているが、栗東市は喫食率を示している理由は。

事務局 食べている数値が増えるというような伝え方が数値目標としては良いと考えている。

会長 取り組みたい食生活の改善では、「野菜の摂取量を増やしたい」「主食、主菜、副菜を組み合わせたバランスのよい食事を取りたい」など4項目が40%以上となっていることから、野菜摂取についての啓発の必要性が再確認できたと思う。

(2) ヒアリング結果報告

- ・事務局が資料の説明を行った。

事務局 今後の施策や計画の検討に活用するため2社に対してヒアリングを実施した。企業側から企業名等を匿名で掲示するよう依頼されている。今後、企業との協働事業についても企画できればと考えている。

委員 大規模災害発生時に避難所が開設され3日間までは備蓄食品で対応することになると思うが、長期化した場合災害協定をしているところからお弁当を頼むなど平時からの準備はしているのか。例えば熊本であれば、避難所では野菜不足になるためお弁当に野菜を入れてもらえるようにしているが、栗東市はされているのか。

滋賀県も食育推進計画では災害のことまで触れていないが、わかれば教えていただきたいし、この場でわからなければ次回でも良いので教えていただきたい。

事務局 災害時の非常食として市の倉庫に備蓄食料品がある。長期化した場合、近隣市、遠隔市、事業者と災害協定を結んでいるが、お弁当という形ではないと思う。危機管理課が担当をしているため、調べてお答えさせていただきたい。

委員 ヒアリング資料２・３の対象についてお伺いしたい。コンビニは同じ系列の店舗なのか、スーパーも市内の同じ系列の店舗をまとめたという理解でよいか。どのように聞いたか、対象なども差し支えない範囲で公開されてもいいかと思う。市民の生活習慣を変えようと思うと、地域の資源としてコンビニやスーパーは非常に大事なパートナーである。タンパク質のPRを行政以外が行ってくれることは夢のような話なので、１つでも２つでも実現していければ良いと感じた。

事務局 各企業の市内にある店舗に伺った。資料２については、本部へアンケートを送付した後、本部から各店舗へ送付・回収していただいた。また、併せて本部の方からいただいた意見も入れている。資料３についても、本部から各店舗へ送付・回収していただいたものをまとめている。回答していただいた方は店長や売り場の方など、店舗により異なる。

（３）第３次計画の取組と評価

・事務局が資料の説明を行った。

委員 本校は栄養教諭がおり、給食センターとつながりが密接というメリットがある。食育は学習の中の一つの分野として扱っており、毎年食育週間を設定している。給食センターで給食ができる過程など５分内程度の動画をシリーズで何本か作っていただいております、食育週間のお昼にタブレットで見ている。

事務局 給食センターの中の調理の風景動画以外に、滋賀県でよく食べられている赤こんにゃくの作り方や、滋賀県の郷土料理にまつわる動画も学校で見いただいている。

委員 野菜や米を作っておられる農業の方がたくさんおられるので、自分たちが作った野菜がどのように子どもたちへ提供されるのか、動画があればご提供いただけるとありがたい。生産者のやる気にもつながりますので検討していただきたい。

（４）栗東市の食に関する課題と取組の提案

事務局 資料５には、第１回策定会議でのワークショップやヒアリングの結果、第３次計画の評価をもとに出た課題をまとめている。委員の皆様に、第４次計画に向けての課題と新たな取組みをご検討いただきたい。

【 提案内容 】

「野菜の摂取量を増やす取組みを行う」

- ・スーパーにて１日に摂取したい野菜350gの量を啓発する。半分にカットしたキャベツなど実物の野菜を使って具体的な量が分かるようにする。
- ・サプリでは栄養を摂ることができるが、口を動かして食べることをしない。口を動かすと唾液が出て、唾液の中には抗菌作用や、ものを運ぶ潤滑作用などのさまざまな作用がある。口を動かすことによって身体というのはうまく機能してくることを周知する必要がある。

「減塩の取組みを推進する」

- ・家庭での塩分測定器を使った塩分濃度の測定を推進する。
- ・１人１人に渡せる値段であるかは分からないが、小学校の教材として塩分計を配布し、各家庭で使用してもらってはどうか。「お父さんお母さんちょっと濃いよ」といった会話ができるかもしれない。

「男性の肥満を予防できる取組みを行う」

- ・働き方の問題であるため、策定会議で解決できることではないが、夕食時間が遅くならないように夕方には仕事が終われる職場づくりの推進を行う。また、昼は１時間必ず休みを取りしっかり昼食を摂ることを働きかけていく。

「朝食の摂取を向上させる取組みを行う」

- ・就職してから朝食を摂れていない方が多いため、大学等で実施されているように、朝食を安価で提供する取組を企業でも実施するよう促す。
- ・生活リズムや朝食の大切さについて園から家庭へ向けて参観日や配信(手紙)で伝える。
- ・夜遅くまで起きていることが原因で朝食を食べない子が多い。朝食を食べさせるにはまず早く寝るということ、昼間しっかり身体を動かして疲れさせてあげるという環境が出来て

いることが大切であるため、朝食だけを食べなさいと伝えるのではなく、睡眠と朝食と運動を併せて教える。保護者が負担に思わないような啓発を行う。

・子どもの食生活は大人の生活に左右されるため、国や県のように支援が必要な家庭への支援が市からも必要。

・午前中は集中力が上がる。自身の話ではあるが、朝の仕事に重点を置けるように朝食をしっかり食べるようにしている。

「共食する機会の確保」

- ・働いている人が夕方にきちんと家に帰れる社会を推進する。
- ・地域で開催しているサロンにて一緒に食べる機会を作る。(特に一人暮らし、外に出る機会がない、人と接する機会も少ないといった高齢の方)
- ・子ども食堂を子どもだけでなく、地域の多世代にわたり食事できる場とする。
- ・家族で食べられる環境にない子どもに対して、子ども食堂の活用を促したり、社会福祉の事業にて夏休み中の昼食を確保したりするなど、福祉からの共食を推進する。
- ・共食は味ではなく、一緒に食事をすることはご飯を食べることの楽しさを伝えるために必要ということを広げていけたらよい。

「バランスのよい食事を実践できる取り組みを行う」

- ・仕事等で忙しい方などが、冷凍食品などの既製品に頼ることが悪いと考えず、「週に1回くらいなら利用する。」と決めて使用してもよいと思う。「プラスで何かを加える」「手軽に出来るプラス一品」といった提案を行う。

「地産地消の実践。郷土料理の継承」

- ・家庭菜園がないと子どもにキュウリを取りに行かせてそのままかじらせてということではできない。市民農園の貸付や、家庭菜園の推進。
- ・園での栽培活動の他、近くのイチジク畑を見に行くなどして身近なところから関心を高める。
- ・コンビニやドラッグストアでの栗東産野菜の販売

「食への興味、関心、感謝」

- ・給食試食会にて、保護者へ給食センターの調理動画を見ていただく。
- ・学校の宿題にするなど、自分で作って食べる機会の設定を行う。
- ・給食の人気のメニューのレシピや説明を書いた用紙を子どもに紹介していただく。家に帰って「一回作ってみたいな」など、興味が出て料理するきっかけにもなると思う。
- ・学校でおにぎり弁当の日を設定。他の行事と重なってバタバタするかなと思ったが、子どもらは機嫌良く参加していた。
- ・市のIT推進部署や農協に協力を得て子ども向けにYouTubeで野菜の作り方やおいしい食べ方といった1分動画を作成して啓発してはどうか。

「子どものかむ力を強くする取り組みの推進」

- ・堅いものが苦手な子どもが多いことを給食センター担当者から聞いたことがあるが、いろんな食材を食べて経験していかないと力がついていかないので給食のメニューとして提供していただけるとよい。
- ・噛む癖により一部の歯でしか噛まない子どもがいる。肉は前歯で切って奥歯ですりつぶして飲み込まないとうまく消化できない。料理の仕方によって異なると思うが、いろんな歯、いろんな部位を使ってご飯を食べる習慣というのを身につけてもらうことを家庭で教えることが大切。
- ・老人など歯のない人たちは一部でしか噛めない。入れ歯が合っていないと食べられないため、合う入れ歯を作るなどご飯を食べられるようにして噛む力を強くしてあげる必要がある。
- ・園で噛める献立を提供するよう工夫する。
- ・園から家庭へ向けての配信(手紙)や参観などで「噛むことのメリット」を伝える。
- ・歯が生える前から歯医者で定期的に健診を受け、歯並びなどを意識することで噛む力を養えるようにする。

「食品ロス削減の推進」

- ・賞味期限が16日のものと18日のものがあれば18日を取る方がおられるため、前からしか取れない現場作りをすることで食品ロス削減を行う。

「若い女性のやせを予防できる取組を行う」

- ・肉類等を食べることが減ったため、血液検査の結果から16～17歳くらいの子の貧血が多い。
筋トレをされる方が増えているので、それに併せてタンパク質の摂取を勧める啓発をするのはどうか。

「その他」

- ・市民が集まるスーパーやコンビニなど、市内どこに行っても情報に触れられる機会があると、これ前にもどこかで見たなとか、野菜や塩分の啓発をまたやっているなど、職場や家でも、情報にたくさん触れられると定着していくと思う。
- ・それぞれの課題を、1個1個行政が取り組むのを考えるのは大変だと思うので、コラボするのもよいと思う。
- ・働き方等健康についての基礎知識、心の健康など食育を支えるものを啓発する。

(5) 第4次計画の基本的な考え方

事務局 基本理念等、第3次計画からの大きな変更点はないが、誰が見てもすぐにわかるよう、基本目標として、「つづける」、「つながる」、「つくる」という動詞から、「けんこう」、「つながり」、「たいけん」という名詞に変更した。また、それぞれのキーワードを提示することで目標の内容が一目でわかるようにした。

また、第3次計画では、「みんなの取組目標」として、それぞれ2つずつ目標を提示していたが、今回は2個ずつという考え方に囚われず追加案を3つ入れた。

【バランスよく3色がそろった食事を心がけよう】については、野菜摂取の重要性については共通認識としてあるが、近年、炭水化物を抜いた食事や、タンパク質の摂り過ぎなど、偏った食生活をされる方がおられることを踏まえて、こちらの目標を追加した。

【よく噛んでゆっくり食事を楽しもう】については、数値としては挙がっていないが、丸のみしている乳幼児が増えた(魚の骨をのどに詰まらせる)といった声がワークショップや園の先生方から挙がっていることに加え、男性の肥満が増加しているという問題から、小さい頃から取り組める身近な目標として挙げた。

【「買いすぎ」「食べ残し」がないよう気を付けよう】については、食品ロス削減の推進の1つとして取り上げた。

また、これまでの食育推進計画は紙ベースのダイジェスト版を新入園児、小学校

1年生、中学校1年生に配布していたが、第4次計画からはそれぞれの目標を載せたクリアファイルを配布して啓発したい。目で見ること意識付けになるようになればと考えている。

委員 紙に代えてクリアファイルというのは身近に感じるので良いと思うが、レシピを調べることができるQRコードを付けるといった工夫をするとより深く知りたいという人についても門戸が開かれるかと感じた。

委員 野菜サラダ350gとなればどれだけなのかわからないので、この料理なら野菜がこれだけというのもわかるといい。

委員 第4次食育推進計画は市民全員が対象ということで、広報紙やホームページで公表するのか。

事務局 はい。

会長 小学生、中学生など将来を担う人たちは大事だと思うが、高齢者も暮らしやすいものというのは落ちないようにしたい。

5. その他

- ・第3回第4次栗東市食育推進計画策定会議について。

10月9日（水）午後1時30分～午後3時30分を予定。

6. 閉 会

- ・新木 真一副会長が挨拶を行った。

以上